



外来・中央処置室

部署の特徴

一般外来は、各科外来ブース、中央処置室、各外来検査や治療、入退院支援室など多くのエリアでの患者様対応を担っています。外来は病院の玄関口として、最も多くの患者様が来院される場所です。当院では、1日平均1000人程度の方々が来院されます。患者様の目的は様々であり、外来診察だけでなく健康診断、日帰り検査や治療、入退院の調整など幅広く対応を行っています。また、病棟と外来が一元化している診療科があり、外来から入院まで継続して看護を展開することができます。

- ・各科外来診察ブースでの介助
- ・外来診療科全科の採血、注射、輸血、処置(腹水穿刺・胸水穿刺・骨髄穿刺、自己血採血、瀉血などの処置介助)、検査入室準備・送り出し、検査後の観察など
- ・健康診断
- ・入退院支援室での入退院調整
- ・放射線検査や生理検査などの各検査
- ・放射線治療室



勉強しておくの良いこと

一処置介助の種類が多いので覚えるまでが大変ですが、最初は何回か見学を重ねてから、見学→一部実施→見守りありで実施→1人で実施というイメージで1人立ちを目指します。1つ1つ処置にはマニュアルがあり、見ながら実施や復習もできるので、安心して実施することができます。

- ・採血、注射、点滴の手技など
- ・輸血製剤の種類と副作用など

よく使う参考書・教科書

- ・ICUナースのノート(日総研出版)
- ・国循ICU・CCU看護マニュアル(メディカ出版)
- ・はじめての～シリーズ(メディカ出版)新人看護師さんにお勧めです！

